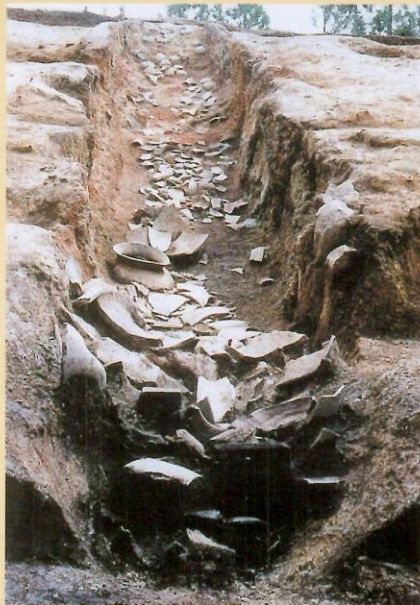


土器づくりの技術

泉森窯跡

窯が築かれる条件は、土器の原料となる粘土、燃料となる木材、そして窯のつくりに適した斜面がある、などです。主に山間地で、いくつかの窯が並んで見つかることがあります。

泉森窯跡では、平成13年の調査で1基の窯が確認され、窯の中にはたくさんの土器や瓦が入ったままになっていました。



泉森窯跡発掘状況



泉森窯跡出土土器



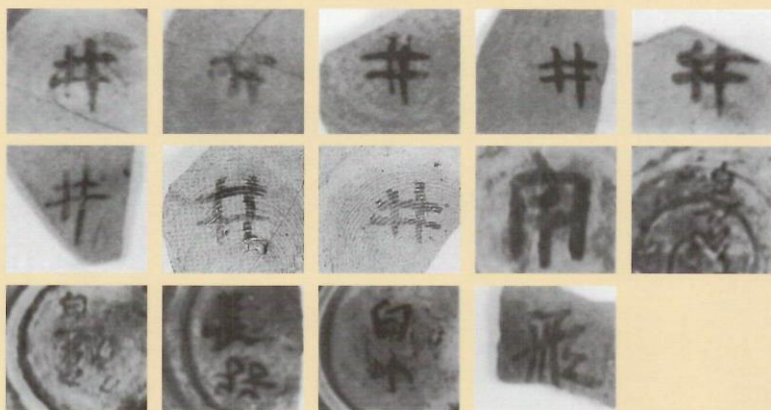
山海窯跡出土の陶硯



(財)山形県埋蔵文化財センター提供

土器に書かれた文字

生石 2 遺跡



墨書土器「井」



石帯

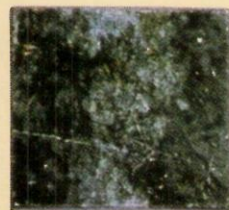
沼田遺跡



刻印土器「王」



墨書土器「王」



石帯

第142回企画展

城輪柵跡とその周辺

開催期間◎平成18年7月6日(木)～9月10日(日)

【期間中無休】

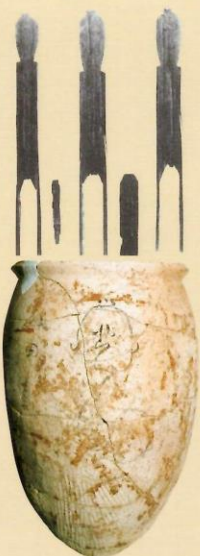
開館時間◎午前9時～午後4時30分

入館料◎大人100円、小学生～大学生50円

(小中学生は土・日無料)

酒田市立資料館

酒田市一番町8-16 ☎0234(24)6544



開催にあたって

城輪柵跡は、昭和6年に初めて発掘調査が行われて、一辺720mの広大な姿を現し、翌7年に国指定史跡となりました。その後、昭和39年の予備調査に始まった長期にわたる発掘調査によって、平安時代の出羽国府跡であることが明らかになってきました。

また、城輪柵跡の周辺には、城輪にあった国府が一時的に移ったとみられる八森遺跡、国分寺跡とみられる国指定史跡堂の前遺跡、祭祀遺構が出土した俵田遺跡、横代遺跡、生石2遺跡、一般集落跡と考えられる手蔵田遺跡群や境興野遺跡、須恵器や屋根瓦を焼いた泉森窯跡、山海窯跡など数多くの遺跡が密集しています。

今回の企画展示では、これらの遺跡から出土した資料をとおして、周辺の遺跡が城輪柵跡と密接に関わっていたことを紹介しようとするものです。

今回の企画展の開催にあたり、貴重な資料を快くご提供くださいました関係機関、各位並びにご協力賜りました多くの方々にお礼申し上げます。

◎展示協力者
山形県教育委員会文化財保護室、(財)山形県埋蔵文化財センター
酒田市教育委員会八幡教育振興室、酒田市立光丘文庫、佐藤禎宏氏



城輪柵跡政庁南門



八森遺跡



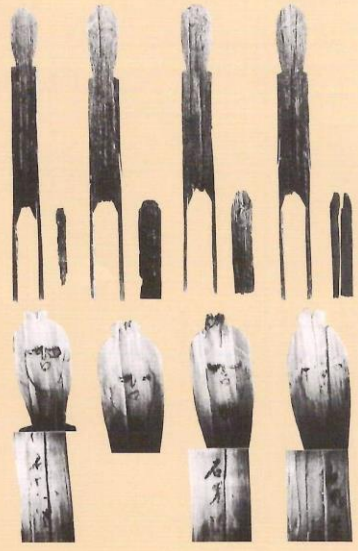
泉森窯跡出土の瓦



多賀城政庁跡

まじないとまつり

俵田遺跡



人形



人面墨描土器



祭祀具と人形の出土状況



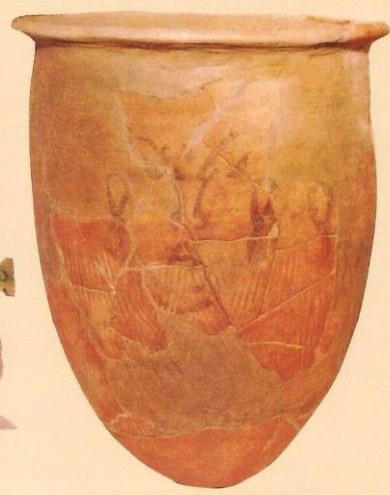
祭祀具の出土状況



斎串(俵田遺跡)

刀形(俵田遺跡)

馬形(俵田遺跡)



人面墨描土器
(横代遺跡)



製塩土器(境興野遺跡)



製塩土器
(庄内町千河原遺跡)